

# 公開講座



主催：立命館大学国際平和ミュージアム  
共催：国際交流基金京都支部、立命館大学法学会  
**第4回国際平和・人権連続セミナー**  
～ 平和の諸相を見る～

## 「記憶と戦争：イスラエルと日本における戦後史比較」

イスラエルのホロコースト記念活動と広島原爆投下後の記念活動を比較検証、記念活動と政治、観光資源、世界史、国の歴史、さらに地元の歴史などを取り上げます。特に被爆者とホロコーストから生き残った人々の体験、広島平和記念館とエルサレムのホロコースト記念館の歴史に焦点を当てた内容で講演を行います。

講師：ラン・ツウィゲンバーグ氏（ニューヨーク市立大学/国際交流基金フェロー）

司会：出口雅久（立命館大学法学部教授・立命館大学国際平和ミュージアム平和教育・研究セクター長）

日時：2010年6月16日(水)13:00～14:30

会場：立命館大学衣笠キャンパス・研心館632(3階)

使用言語：日本語

講演会当日、直接会場にお越し下さい

### 【講師紹介】



ラン・ツウィゲンバーグ

### 講師略歴

- 1976年 テルアビブ(イスラエル)生れ
- 1995～1998年 イスラエル国防軍により徴兵
- 2001～2004年 ハンタ大学(アメリカ、NY)にて歴史学、哲学を専攻
- 2004～2005年 九州大学でアジアの歴史を専攻  
JTWプログラムにて主席を獲得
- 2005年より 国連ニューヨーク本部広報局にて勤務
- 2009～2010年 国際交流基金フェローシップにより、広島市立大学に研究員として在籍、広島についての調査を行う

### 会場案内



市バス<立命館大学前>下車。  
正門に入り、右側、充光館の下を抜け直進。突き当たりの建物です。

お問い合わせは  
立命館大学国際平和ミュージアム  
TEL:075-465-8151